



2023.  
**8.26** [土]  
13:00-15:30

ワークショップ・特産品販売  
10:00-16:00



# 第2回とっとり日本遺産フォーラム

「とっとり日本遺産の魅力 その弐～『大山さんのおかげ』霊峰大山が育んだ天恵の地～」

「日本遺産」とは、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーについて、文化庁が認定したものです。第2回となる本フォーラムでは、鳥取県西部地区の日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」を通して、日本遺産の魅力と楽しみ方を紹介します。



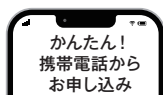
JAPAN HERITAGE  
日本遺産

会場

米子コンベンションセンター  
小ホール（鳥取県米子市末広町294）

定員

先着300名 聴講無料・事前申込制



※QRコードを読み込み、  
必要事項を入力して送信してください。

※この他の申込方法はチラシ裏面をご覧ください。



聴講者  
には

「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」大山の恵み体験セット



星取ジェラート引換券

大山の水

をプレゼント!!

## フォーラム内容

オープニングアクト  
13:10-13:30

さりがか や こうじん かぐら

下蚊屋荒神神楽（下蚊屋荒神神楽保存会明神社）

講演  
13:30-13:50

「日本遺産物語をどう活かす」（丁野 朗氏）

各日本遺産  
ストーリー紹介  
13:50-14:05

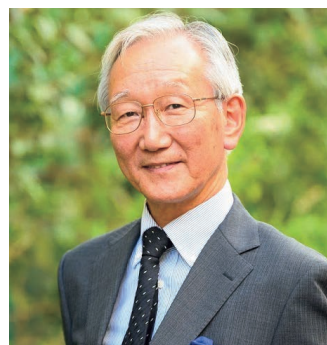
- 六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～
- 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～
- 日本海の風が生んだ絶景と秘境  
- 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」-

パネルディスカッション  
14:15-15:30

「大山さんのおかげ」（出演者はチラシ裏面）

講演

「日本遺産物語をどう活かす」



「講師」  
丁野 朗氏  
ちようの  
あきら

公益社団法人日本観光振興協会総合研究所顧問  
元東洋大学大学院国際観光光学部客員教授

## プロフィール

マーケティング及び環境政策のシンクタンクを経て、1989年（財）余暇開発センター入所。2002年に（財）社会経済生産性本部に移籍。「ハッピーマンデー（祝日の月曜日指定）制度」の提唱、産業観光などの地域活性化事業に携わる。2008年（社）日本観光協会（現（公社）日本観光振興協会）に移籍。常務理事、総合調査研究所長を務める。文化庁、観光庁、経済産業省などの政府各省庁の委員や、高知県、広島県呉市、京都府舞鶴市、神奈川県小田原市など、地方公共団体の観光アドバイザーなどを務める。  
2020年度、永年にわたり、文化観光の分野で日本文化の継承と発展に尽力、わが国の文化遺産に貢献していることが認められ、文化庁長官表彰を受賞。

ワークショップ  
特産品販売

同時  
開催

- とっとり日本遺産の魅力を紹介するワークショップ
- 特産品販売 ■だいせん地蔵づくり ■缶バッジ作製
- ぬりえ ■ペーパークラフト作り など、

楽しい企画がいっぱい!!

事前申込不要 10:00-16:00  
1階情報プラザ



主催：とっとり日本遺産ネットワーク会議

後援：新日本海新聞社、山陰中央新報社、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、中海テレビ放送、日本海ケーブルネットワーク

【お問い合わせ】【フォーラム運営事務局】日本海新聞西部本社ビジネス支援課 TEL0859-34-8813



# 「大山さんのおかげ」 とっとり日本遺産フォーラム パネルディスカッション

- コメンテーター：丁野 朗氏(公益社団法人日本観光振興協会総合研究所 顧問)  
 コーディネーター：米村 康幸氏(一般社団法人山陰インバウンド機構 事業推進部 部長)  
 パネリスト：石村 隆男氏(大山日本遺産 スーパーバイザー・公益財団法人とっとりコンベンションビューロー 理事長)  
 川越 博行氏(一般社団法人米子観光まちづくり公社 理事長)  
 西尾 秀道氏(大山町観光課 課長)  
 白石 夏季氏(一般社団法人大山観光局 事務局長)  
 藤本 匡裕氏(大山町地域おこし協力隊)



## とっとり日本遺産認定ストーリー紹介

### 認定ストーリー⑫

#### 六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と 世界屈指のラドン泉～

三徳山は、山岳修験の場としての峻峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けぬ厳しさは1000年にわたって畏怖の念を持って守られてきている。



参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点を担った『三朝(みささ)温泉』は、三徳山参詣の折に白狼により示され、発見されたとの伝説が残り、温泉発見から900年を経て、なお、三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根(目、耳、鼻、舌、身、意)」を清め、湯治により「六感(観、聴、香、味、触、心)」を癒すという、ユニークな世界を具現化している。

### 認定ストーリー③⑨

#### 荒波を越えた男たちの夢が 紡いだ異空間

～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられる。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っている。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われている。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやまない。



### 認定ストーリー③③

#### 地藏信仰が育んだ 日本最大の大山牛馬市

大山の山頂に現れた万物を救う地藏菩薩への信仰は、平安時代末以降、牛馬のご加護を願う人々を大山寺に集めた。江戸時代には、大山寺に庇護され信仰に裏打ちされた全国唯一の「大山牛馬市」が隆盛を極め、明治時代には日本最大の牛馬市へと発展した。西国諸国からの参詣者や牛馬の往来で賑わった大山道沿いには、今も住時を偲ぶ石畳道や宿場の町並み、所子集落に代表される農村景観、「大山おこわ」など独特の食文化、大山の水にまつわる「もひとり神事」などの行事、風習が残されている。ここには、人々が日々「大山さんのおかげ」と感謝の念を捧げながら大山を仰ぎ見る暮らしが息づいている。



### 認定ストーリー⑦⑧

#### 日本海の風が生んだ 絶景と秘境

—幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う  
大地「因幡・但馬」—

日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起す荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。



## 講演、パネルディスカッション申込方法

郵便番号、住所、氏名、連絡先を明記し、

- QRコードを読み込み、必要事項を入力して送信
- はがき：〒683-8520 鳥取県米子市両三柳3060  
日本海新聞西部本社ビジネス支援課  
「とっとり日本遺産フォーラム」係

③FAX:0859-34-8817

④メール:s-jigyo@nnn.co.jp

のいずれかの方法でお送りください

お申し込みは  
こちらから



※締切は8月18日(金)で、聴講券をお送りします  
(定員に達しない場合は、締切後も申し込みを受け付けます)



【アクセス】

- JR:米子駅より約3分
- 車:山陰道米子市ICより約10分